



令和5年度 学校便り

令和5年9月1日

鹿本だより9月

江戸川区立鹿本小学校長 奥村 孝史

困難に負けない子供に

校長 奥村 孝史

長い夏休みも終わり、日焼けして元気に登校してきた子供たち。校門で挨拶をしていると、「背がのびたなあ。」「たくましくなったな。」と感じました。夏休みにしかできない貴重な体験をたくさんして、有意義な夏休みを過ごすことができたことでしょう。素敵に成長した子供たちと一緒に作る2学期の鹿本小学校に期待は膨らみます。2学期は、学習も行事も盛りだくさんで充実した学期です。たくさんの学習や行事の中で、少し困難なことに挑戦し自分を成長させることのできる学期です。子供たちの成長を支援するために教職員で力を合わせ、取り組んでいきます。

さて、ここで「北山杉」について話をします。北山杉は過酷な環境を経て育つ杉で有名です。普通、杉を育てるときには、間伐して陽当たりを良くします。陽当たりを良くすると、当然太い杉に育ちます。ところが、北山杉は時間をかけて細く育てます。植える時からわざと密集させて育てます。間伐もしないので、育っても細いままで。その上で枝落としをして、わざと成長をにぶらせるようにしています。なぜ、このように育てるのでしょうか。この北山杉が育っている環境は、山の斜面が急で土の養分が少ない山地です。さらに霧が多く、日照時間が限られています。川の流れも細くて急なため、材木を流して運ぶことができません。そのため、丸太にして山道を人の手で運ばなければなりません。この厳しい環境を生き抜くための人々の知恵とそれに対する樹木の適応が、細くて目の詰まった北山杉を生んだのです。このことは、子供たちの育て方にも当てはまります。人はいつも恵まれた環境の中で生活できるとは限りません。時には強烈な風に遭遇することもありますし、灼熱の太陽に焦がされることもあります。そのような時に困難を乗り越えた経験がどれだけあるかで、目の前の苦難を乗り越えられるかどうかが決まります。世界という舞台を相手にするこれからの時代は、順風満帆の状況で順調に伸びていくことができるとは限りません。時代はむしろますます厳しさを増していっています。北山杉が厳しい傾斜に負けず、木と木の隙間がない窮屈な中で育つように、子供たちも厳しさに負けず乗り越えてほしいと願うのは皆同じではないでしょうか。ですから、子供たちを鍛え、力を身につけさせ、自らの力で困難を乗り越えていく人材に育つよう、学校と保護者、地域で連携し、後押ししていきましょう。

●9月の目標

生活目標「正しい歩き方をしましょう」

保健目標「規則正しい生活リズムをつくらう」

- ・朝ごはんをしっかり食べる。
- ・夜布団に入る時間を決める。
- ・外遊びや運動をたくさんする。

給食目標「学校のリズムに戻ろう」

「食器を大切に扱おう」

- ・時間を守り、早く学校のリズムに慣れる。
- ・食器は両手で持つ。・食器は優しく重ねて片づける。

●9月の生活指導

夏休みに入る際、歩行の仕方や自転車の乗り方に気を付けて、事故に合わないようしましょうと指導しました。まだ日が長い時期が続きます。今後も交通安全を意識してほしいです。

また、生活リズムを整えることは、健康に過ごすための基本です。ご家庭でのご協力をお願いいたします。(生活指導 田口健市)